

# 旭労災病院ニュース

病院情報誌 第 35 号 平成 20 年 10 月 1 日発行

発行所：旭労災病院

〒488-8585

尾張旭市平子町北61番地

TEL 0561-54-3131

FAX 0561-52-2426

<http://www.asahih.rofuku.go.jp/>

## 整形外科診療体制の変更について

整形外科部長 花林 昭裕



このたび平成18年7月から続いていました整形外科医師の欠員が本年10月から補充されることになりました。これまで整形外科医師3名で2診の外来、病棟回診を行っておりましたため外来での診察待ち時間が長く、手術の待機日数も長かったため登録医の先生方からお送りいただいた患者様にも大変ご迷惑をおかけし、先生方も数多くのクレームを聞かれたことと思います。この紙面をお借りしてお詫び申し上げます。なお、10月から赴任する渡邊一貴医師は卒後3年目ではありますが、本人の希望により当院に赴任する医師であり夢も多く、やる気に溢れております。是非先生方からもご指導、ご鞭撻をいただいた上で、われわれも大事に育てていただきたいと思います。

次に専門外来についてですが、昨年より3種類の専門外来が開設されました。毎週水曜日には脊椎外来、毎週金曜日には人工膝関節外来、奇数週の水曜日には手の外科外来を行っております。病診連携室を通じて予約いただく際にご参考にしていただければ幸いです。

また、当院も今年の7月よりDPCが始まり投薬の制限、入院日数の制限などを余儀なくされております。これにより今迄以上に登録医の先生方と密接な関係を保つことが必要となりました。術後早期に回復期リハビリテーション病院への転院をお願いしたり、当院にご紹介いただいた後に入院、手術を必要とする症例では既存疾患に対する投薬、検査所見などの持参をお願いすることとなります。お手数をおかけいたしますがご配慮いただけますようお願い申し上げます。

最後に当院整形外科は毎年手術件数の増加、このたびの医師の増員と活気に満ちております。登録医の先生方、患者様、われわれのいずれにとっても満足な治療ができるよう努力してまいりますので、今後ともより多くの症例をご紹介いただけますようお願い申し上げます。

# 咳喘息と胸痛喘息

呼吸器科部長 加藤 高志



気管支喘息は、繰り返し起こる咳、喘鳴、呼吸困難、可逆性の気道狭窄と気道過敏性の亢進が特徴的な疾患です。喘息には変異型があると考えられ、遷延性・慢性咳嗽の原因として頻度の多い咳喘息(cough variant asthma)、そして胸痛を呈する胸痛喘息(chest pain variant asthma)という変異型の症例報告が最近目につくようになりました。

咳喘息は、喘鳴や呼吸困難を伴わない慢性咳嗽を訴え、呼吸機能はほぼ正常ですが気道過敏性が亢進し、「気管支拡張薬治療で咳嗽が消失する」という特徴をもっています。咳嗽は、就寝時、深夜あるいは早朝に悪化しやすく、上気道炎、冷氣、運動、喫煙、天候などに影響されます。喘鳴は自・他覚的に認めず、強制呼出時にも聴取されません。経過中に成人では 30%前後に喘鳴が出現し、喘息に移行します。治療は、間欠的に咳嗽を認める場合には短時間作用型  $\beta 2$  刺激薬吸入やテオフィリン薬の頓用ですが、咳嗽が持続的にある場合には喘息と同様に早期から吸入ステロイド薬を導入します。

咳喘息の簡易診断基準(下記①～②の全てを満たす)は、①喘鳴を伴わない咳嗽が8週間(3週間)以上持続し、聴診上も wheeze を認めないこと、②気管支拡張薬が有効であること、とされ、参考所見として1)喀痰・末梢血好酸球増多を認めることがあること(特に前者は有用)、2)気道過敏性が亢進していること、が挙げられています(日本呼吸器学会 咳嗽に関するガイドラインより)。

胸痛喘息は、胸痛や胸部絞扼感を主訴とする発作を生じますが、発作時には心臓や循環器系に異常を認めず、呼吸困難を伴うことがあります。喘鳴を聴取せず、気管支拡張薬にて症状の改善を認める疾患です。もちろん、喘息患者では咳嗽による胸壁の損傷によって疼痛が出現することがありますが、胸痛喘息の胸痛はこれとは異なるものであり、発生機序は不明です。また、疾患概念が確立していませんが、佐野らの総説の「chest pain variant asthma の診断の手引き」では、①胸骨部位に激痛を伴う呼吸困難症状が見られ、喘鳴は聴取しない、胸痛は左肩に放散することもある、②激しい胸痛と呼吸困難を訴えるが喘鳴がなく、咳嗽を伴うこともある、③胸痛はときに胸部絞扼感として一日中続くこともある、④上記症状は、冠動脈拡張薬では改善せず、気管支拡張薬の吸入または内服で数分から数十分後に軽快する、の4つの条件を提唱しています。これからは、胸痛や胸部絞扼感の鑑別疾患として胸痛喘息も挙げなければならないようです。

